

# ポストコロナ 時代に向けた 行政サービス

問い合わせ 企画財政課 ☎ 072(740)1130

3年度予算は、2年度補正予算と一体的に編成。最優先事項である新型コロナウイルスワクチン接種をはじめ、「感染予防対策」や「子ども・子育て世代への支援」「がんばる地域・事業者への支援」「行政運営・市民サービスの改革」の4つの柱を中心として取り組みます。

ここでは、4つの柱の主な事業の主な取り組みと行政運営・市民サービスの改革について紹介します。

## 児童福祉施設などでの 感染予防対策

感染予防

市役所やその他の公共施設、児童福祉施設、留守家庭児童育成クラブなどで使用するマスクや消毒液などを購入。感染症予防対策を引き続き実施します。

5,863 万円

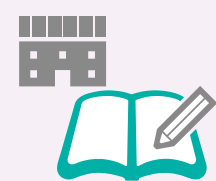


## 公民館での中学生への 学習支援

子育て

2年10月から中学生を対象に行っている「川西市コーチングによる学習支援事業」。生徒の理解度に合わせて、引き続き公民館でスタッフが指導します。

3,000 万円



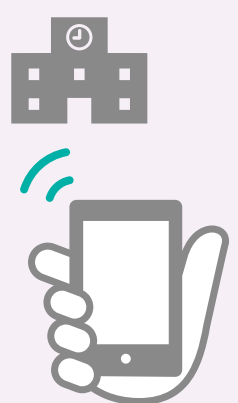
## 学校などと家庭をつなぐ 連絡アプリの導入

子育て

保護者との連絡をスムーズに行うため、市立学校・園所と家庭をつなぐ連絡アプリを導入。

子どもの欠席や遅刻の連絡を、オンラインで受け付けることができるように整備します。子どもの状態に関する入力欄があり、学校・園所は正確な情報を把握できます。

1,966 万円



## 学校テスト採点 集計システムの導入

子育て

学習評価を充実させ、個々の学力や習熟度に応じた学習支援につなげるための採点システムを導入。定期考査の採点を効率化します。

1,139 万円



## 新型コロナウイルス ワクチン接種

感染予防

新型コロナウイルスのワクチン接種は、国が主導のもと市が行います。

1人でも多くの人が安心して速やかに接種できる体制を整備し、高齢者から順次接種を実施します。

ワクチン接種の流れなど詳細は7、8ページに記載しています。

8 億 8,307 万円



## 救急車に低濃度 オゾン発生器を配備

感染予防

救急搬送中に新型コロナウイルスの感染リスクを低減させるために、救急車に低濃度オゾン発生器を導入。感染拡大の抑制と予防を徹底します。

185 万円



## コワーキングスペース 開設への支援

地域経済

自宅以外で仕事ができ、新たなつながりや仕事を創出する「コワーキングスペース」の運営支援を実施。市内で職・住が完結できる仕組みをつくりまします。

305 万円



## 中央図書館の 電子図書の追加購入

改革

コロナ禍への対応と利用者の利便性を向上させるために、2年8月から導入している電子図書館で新たに600冊のコンテンツを購入します。

356 万円



## 官民連携による ICT などを 活用した課題解決の実証実験

改革

市の抱える課題に対して民間企業などから解決案を募り、協働で実証実験を行いながら官民連携による政策立案を推進します。

520 万円



## デジタルサイネージなど ICT を活用した情報発信

改革

阪急・能勢電鉄川西能勢口駅前にデジタルサイネージを設置。また、市ホームページを見やすくするなど、誰もが分かりやすいと感じる情報発信を行います。

1,560 万円



## 道路情報 閲覧システムの導入

改革

道路情報閲覧システムを導入。市役所に来庁した人が、タッチパネルディスプレイを使って道路情報を確認できる環境を整備します。

4,700 万円

